



帯広畜産大学 基金報告

第15号（令和6年度）



国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学

目 次

学長挨拶	1
帯広畜産大学基金受入状況	2
令和6年度収支決算	3
学生修学支援事業基金	
令和6年度大学基金奨学生との懇談会を開催	4
基金奨学生からの感謝の言葉	5
海外留学費用給付事業「畜大生グローバルチャレンジ」について	15
大学運営支援事業基金	
ちくだいらんぷ事業（学生による社会貢献事業）	16
その他	
ちくだいホームカミングデー 2024を開催	20
寄附者ご芳名	21
感謝状の贈呈	25
帯広畜産大学大学基金運営委員会委員名簿	26
帯広畜産大学基金関連規程	27

学長挨拶

日頃より皆さまには、本学の教育研究活動に対するご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。また、帯広畜産大学基金事業に対して、多大なるご支援をいただき、重ねて厚くお礼申し上げます。ここに、令和6年度の帯広畜産大学基金事業が無事に実施できましたことをご報告いたします。

近年は、同窓生の皆さま、保護者の皆さま、企業等の皆さまなど、多くの方々に賛助会員にご加入いただき、安定した財政基盤を築くことができいております。基金事業が末永く実施できますよう、趣旨にご賛同いただき、今後とも、帯広畜産大学基金への継続的なご支援にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご支援いただきました寄附金は、経済的に困窮している成績優秀な学生への奨学金給付、授業料・入学金免除等の学生修学支援事業や、地域における社会貢献活動への助成等を行う大学運営支援事業、老朽化した施設の改修等を行う就学環境の整備事業の実施に際して、大切に使用させていただいております。

今春も、畜産学部共同獣医学課程、畜産科学課程、大学院畜産学研究科、別科酪農専修に341名の学生が入学しました。総勢1,400名の学生が、畜大キャンパスに集い、「食を支え、くらしを守る人材」として、地域および国際社会に貢献すべく、農学、畜産科学、獣医学を学んでいます。

現在、気候変動、エネルギー問題、少子高齢化、多発する自然災害など、多くの課題があります。特に、18歳人口の減少は、大学にとって影響の多い課題ですので、教育の質を高め、就学環境を整備し、魅力ある大学づくりに努める所存です。

つきましては、引き続き皆さまからのご支援を賜りたく、重ねてご協力をお願い申し上げます。

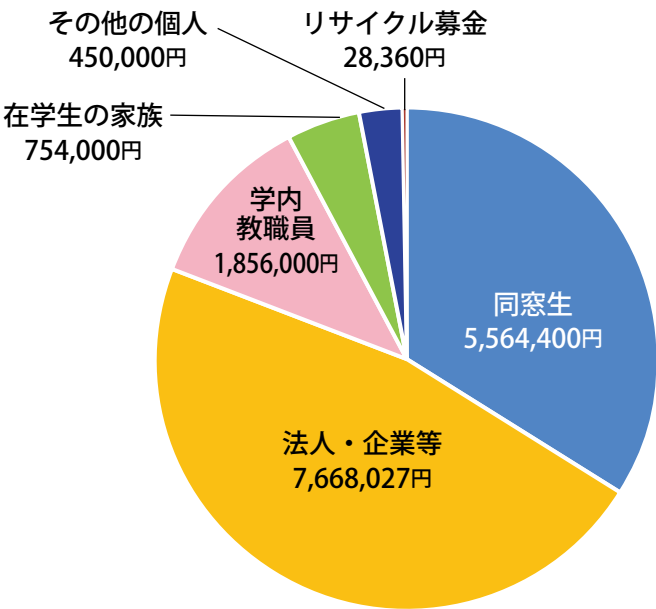


国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学長 長 澤 秀 行

帯広畜産大学基金受入状況

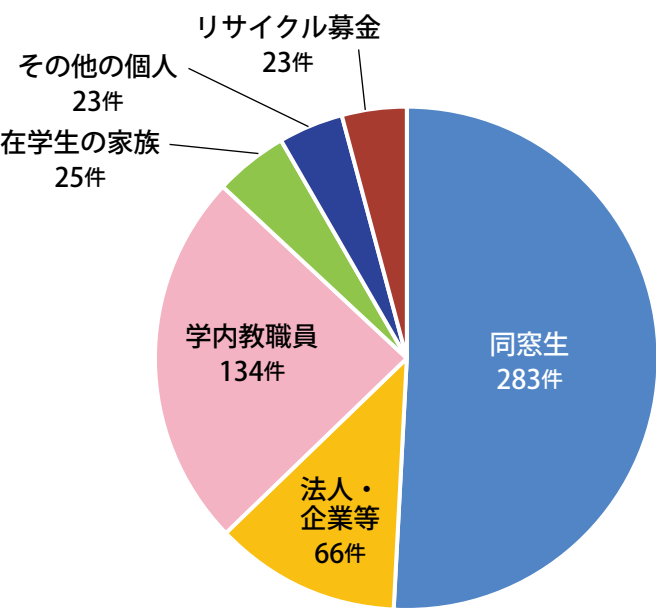
令和 7 年 3 月 31 日現在

令和 6 年度寄附金額



	令和 5 年度	令和 6 年度
同窓生	10,959,000円	5,564,400円
法人・企業等	9,880,931円	7,668,027円
学内教職員	2,544,890円	1,856,000円
在学生の家族	887,000円	754,000円
その他の個人	545,000円	450,000円
リサイクル募金	33,397円	28,360円
合 計	24,850,218円	16,320,787円

令和 6 年度寄附件数



	令和 5 年度	令和 6 年度
同窓生	338件	283件
法人・企業等	70件	66件
学内教職員	145件	134件
在学生の家族	34件	25件
その他の個人	14件	23件
リサイクル募金	33件	23件
合 計	634件	554件

令和6年度 収支決算

収入の部

(単位：千円)

区 分	件 数	金 額
法 人 ・ 企 業 等	66	7,668
同 窓 生	283	5,564
在 学 生 の 家 族	25	754
そ の 他 個 人	23	450
教 職 員	134	1,856
リサイクル募金	23	28
小 計	553	16,320
利 息 収 入 等	—	3,059
合 計	554	19,379

支出の部

(単位：千円)

項 目		金 額
学生修学支援事業基金		
授 業 料 等 免 除 事 業	授業料免除 6 名，入学料免除 4 名	2,735
学 資 給 付 事 業	学部生12名，大学院生 7 名	8,340
海外留学費用給付事業	長期留学 2 名	1,160
小 計		12,235
大学運営支援事業基金		
社会貢献活動支援事業	畜大生による地域貢献活動である「ちくだいらんぷ」事業等への支援	912
小 計		912
合 計		13,147

(単位：千円)

令和6年度現預金残高	期 首	334,815
	期 末	341,047

令和6年度大学基金奨学生との懇談会を開催

令和6年12月2日（月）に総合研究棟Ⅰ号館において、令和6年度帯広畜産大学基金奨学生との懇談会を開催しました。

帯広畜産大学基金では、学生修学支援事業として、経済的理由によって修学に困難がある学業成績が優秀な学生を対象に、学資給付事業や授業料等免除事業を実施しています。この懇談会は、同奨学生に大学基金の趣旨を理解していただき、有効に活用してもらうことを目的に開催しているものです。

はじめに、仙北谷副学長から、「奨学金を受け取った皆さんが一生懸命頑張る姿を見て、応援してくれる人も増えるはず。研究、学業に集中できるように奨学金を有効活用して、学生生活を充実したものにしてほしい。」と挨拶を述べました。

懇談では、学生から近況報告が行われ、「実習や就職活動などで、アルバイトの時間が確保できない中、奨学金のおかげで研究と学業に専念することができた。」「資格取得のために時間を使うことができた。」「親の仕送りの負担を減らすことができた。感謝の気持ちを持って学業に励みたい。」など、基金奨学金に対する感謝の言葉がありました。

終わりに、仙北谷副学長から「基金奨学金に関わらず、何か困ったことがあったら、大学を頼ってほしい。皆さんの意見、要望等を大学運営に反映させ、サポートしていきたい。」と激励の言葉がありました。



仙北谷副学長（前列中央）、舛川事務部長（後列左）と基金奨学生

基金奨学生・授業料免除学生からの感謝の言葉

「帯広畜産大学基金にご寄付いただいた皆様のおかげで、私は6年間通うことができたと感じております。」

畜産学部共同獣医学課程6年 工藤 綾



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただきありがとうございます。この2年間は解剖学研究室に所属し、ペンギンの胚の発生について研究を行いました。私は他大学から再受験して、獣医学を学ぶために帯広畜産大学の共同獣医学課程に通いました。そのため、6年間大学へ通うにあたり経済的に厳しい状況であり、また学年が上がるごとに勉学のためにアルバイトの時間を制限せざるを得なくなりました。まもなく卒業となりますが、帯広畜産大学基金にご寄付いただいた皆様のおかげで、私は6年間通うことができたと感じております。帯広畜産大学基金にご寄付いただいた皆様、そしてすべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

「アルバイトの時間を減らして研究に集中することができました。」

畜産学部共同獣医学課程6年 村上 零鈴



この度は、帯広畜産大学基金奨学金に採用していただきありがとうございます。私は伴侶動物外科学研究室に所属し、主に犬や猫に関する獣医療を学んでいます。また、血液から血小板を濃縮した血漿を利用し、創傷治癒や組織再生を促進するPRP(多血小板血漿)という再生医療についてのプロトコルを研究していました。本奨学金に採用していただいたおかげで、アルバイトの時間を減らして研究に集中することができました。いただいた時間をより一層有意義なものにし、社会に貢献できる獣医師を目指して精進していきたいと思っております。

最後に、本奨学金に関わる皆様に改めて感謝申し上げます。

「奨学金のご支援が大きな支えとなっています。」

畜産学部共同獣医学課程4年 岩本 彩花



奨学金のご支援のおかげで、研究室での活動や、勉学に充実して取り組むことができている。4年生から家畜病理学研究室に配属が決まり、現在は解剖の手法などを学んでいる段階です。病理学研究室では当日に剖検の依頼が入ることも多いため、アルバイトをすることが困難になりました。そのようなタイミングで、このような奨学金のご支援をいただけて、感謝の気持ちでいっぱいです。また、勉学以外では部活動としてカーリング競技をしています。昨年は大学生選手権3位、全道大会4位入賞など大きな大会でプレーをし、成績を残すことができました。このような大会は遠方で行われることも多く、経済的な負担も大きいので、奨学金のご支援が大きな支えとなっています。

今後も、勉学、部活動ともにより一層力をいれて取り組んでいきたいと思っております。この度は奨学金のご支援をいただきまして誠にありがとうございます。

「奨学金をいただけていることで経済面での心配が減り、学業に集中して打ち込むことができます。」

畜産学部共同獣医学課程 4 年 横山 航季



初めに、帯広畜産大学基金にご寄付いただいた皆様、関係者の皆様に感謝を申し上げます。私は、病理学研究室に所属しております。研究室では主に亡くなった動物の体でどのようなことが起きていたのかを明らかにするために、解剖・組織標本の作成・検鏡を行っております。身につけなければならない技術や知識が山のようにあり大変ではありますが、やりがいを持って過ごしています。本奨学金をいただけていることで経済面での心配が減り、学業に集中して打ち込むことができます。

今後も感謝の気持ちを忘れずに奨学生としてふさわしい行動を重ねて参ります。

「お金の心配なく楽しい日々を過ごせているのは、帯広畜産大学基金に携わっていただいた皆様のおかげです。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 大浦 純子



この度は、帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき誠にありがとうございます。本奨学金をいただいたことで、アルバイトの時間を削減し、研究に専念することができました。私は、商業用豚の季節に伴った筋肉および脂肪の変化についての研究をしています。所属研究室の先行研究より、放牧ブタは季節に伴って代謝機能を変化させることが明らかとなりました。そこで、季節変動のない豚舎内のブタにも、そのような変化があるのかを明らかにするために、研究を進めています。

研究室では、仲間と共に毎日楽しく学生生活を送っています。お金の心配なく楽しい日々を過ごせているのは、帯広畜産大学基金に携わっていただいた皆様のおかげです。ご支援いただいた皆様、心より感謝申し上げます。

「奨学金のおかげで、学業に集中して取り組むことができました。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 長野 辰徳



昨年度に引き続き、帯広畜産大学基金奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私は家畜生産科学ユニット、家畜栄養学の研究室に所属しております。近年、反芻家畜から発生するメタンガスは温暖化の原因の1つとして問題視されており、畜産業にとっては向かい風となっています。そうした中、畜産業から発生するメタンガスの削減が課題であり、私の研究テーマはウシの反芻胃からメタンガス産生を抑制することでした。カギケノリという海藻を飼料に添加することで、メタンガスを抑制する効果がみられ、実用化に向けて大きく動き出しました。本奨学金のおかげで、学業に集中して取り組むことができました。

最後になりますが、ご支援いただいた方々に改めてお礼を申し上げます。

「奨学金を頂いたことにより研究への集中も高められました。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 林 慶太



この度は帯広畜産大学基金奨学生として採択していただきありがとうございます。私は主食用パンにおける減塩をテーマに研究を行っております。日本人の一日当たりの食塩摂取量は諸外国と比較して多く、加工食品の減塩が一つの過剰摂取の抑制策だと考え、食パンにおいて如何なる減塩方法が可能か研究を進めています。今までは朝早くからアルバイトをしていたこともあり、日中の集中力が低下していることも多々ありましたが、奨学金を頂いたことにより研究への集中も高められました。また、部活動で道外の大会に出場することもある一年間であったため、部活動費に充てることもでき、非常に助かりました。改めまして、本奨学金に携わった皆様には重ねてお礼申し上げます。

「今後は奨学生としていただいたご支援を、北海道の食糧生産に貢献することでお返ししてまいりたいと考えております。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 村上 勇人



この度は昨年度に引き続き帯広畜産大学基金奨学生として採択していただき、誠にありがとうございます。私は特定外来生物であるセイヨウオオマルハナバチの除去とカボチャ生産に関する研究に取り組んでおります。特に春夏に多くの時間を除去や圃場での野外実験に費やす中、本奨学金を給付していただくことで、金銭面や精神面に余裕が生まれ、研究活動に充てる時間を確保することができました。また、卒業後は北海道内での就職が決まり、今後は奨学生としていただいたご支援を、北海道の食糧生産に貢献することでお返ししてまいりたいと考えております。このような機会をいただけたのも、ひとえに基金の皆様の温かいご支援の賜物と深く感謝いたします。

「今後も皆様からのご支援に感謝を忘れず、学業や研究に励んでいきたいと思いをします。」

畜産学部畜産科学課程 3 年 川崎 朱莉



この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、心より感謝申し上げます。私は環境農学研究室に所属しており、イネの乾燥ストレス耐性や回避に関する研究を行う予定です。イネは世界の食料生産において重要な穀物であり、安定した生産に少しでも貢献できるような研究をすることが目標です。本奨学金のおかげで、アルバイトに費やしていた時間減らし、学業に集中することができました。

今後も皆様からのご支援に感謝を忘れず、学業や研究に励んでいきたいと思いをします。この度は誠にありがとうございました。

「多くの方々にご支援いただいていることを忘れず、これからも勉学に励んでいきます。」

畜産学部畜産科学課程3年 松永 実優



この度は帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。私は環境生態学ユニットに所属しており、特定外来生物に指定されているアレチウリ防除に関する研究を行う予定です。アレチウリはウリ科の植物で、繁殖力が高く、在来種の減少や農業への影響が懸念されています。現在、日本全域の飼料畑や河川敷に侵入しており、数年前には帯広市でも発見されました。一般的には抜き取りによる防除が行われていますが、これは労力を要する大変な方法です。そこで、私は新たな駆除方法の確立に向けて研究したいと考えております。

改めて、この度は本奨学生として採用していただきありがとうございます。多くの方々にご支援いただいていることを忘れず、これからも勉学に励んでいきます。

「これからもご支援くださった皆様への感謝を忘れずに学業と部活動、どちらも全力で楽しみながら励んでいきたいと思ひます。」

畜産学部畜産科学課程3年 森田つぐみ



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。父が病気で倒れ家計が苦しい中でも母は、畜大に行きたいという私の願いを全力でサポートしてくれました。そんな母の金銭的な負担を減らしたいと考え、今回申請させていただきました。おかげで負担を減らすことができ、かつ自分自身も学業と馬術部の活動どちらも集中して取り組み両立することができました。その結果、第一希望であった野生動物研究室に所属することができました。野生動物と人の軋轢や家畜へ与える影響などについて興味があり、研究していきたいと考えています。

これからもご支援くださった皆様への感謝を忘れずに学業と部活動、どちらも全力で楽しみながら励んでいきたいと思ひます。本当にありがとうございました。

「ご支援のおかげで、アルバイトへの時間を減らすことができ、より学業に集中することができています。」

畜産学部畜産科学課程1年 牧野久瑠実



この度は、帯広畜産大学基金に採用して頂きありがとうございます。ご支援のおかげで、アルバイトへの時間を減らすことができ、より学業に集中することができています。私は、4月に入学して、自分が学びたいと考えていた動物や農業に関することを多く学ぶことができました。中でも、記憶に残っているのは実習で行われた豚のと畜です。豚を気絶させて、皮を剥ぎ、内蔵を取り出すという作業を間近で見ることは初めての体験で、とても勉強になったと共に、命の大切さや命を頂くことに対する感謝の気持ちを改めて学ぶことができました。

今後ともご支援頂いたことへの感謝を忘れず、より一層学業に励んでいきたいと思ひます。

「奨学金のご支援は私の研究を進める上で大変重要な支えとなっています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 森田 季恵



このたびはご支援を賜り、心より御礼申し上げます。現在、十勝地方においてエゾフクロウの繁殖に人工林が与える影響について、研究を進めています。十勝中に設置した巣箱を活用し、繁殖状況を調査していますが、繁殖期である春夏には高頻度で各調査地を巡る必要があり、天候次第で予定が大きく変わることもしばしばです。そのため、研究活動に十分な時間を確保することが不可欠ですが、アルバイトに割ける時間が限られるため、奨学金のご支援は私の研究を進める上で大変重要な支えとなっています。おかげさまで、エゾフクロウの保全に資する知見を得るべく研究に集中できております。この貴重な機会に、改めて深く感謝申し上げます。

「皆様のご支援により、勉学や研究、資格取得に励むことができました。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 足利 竜実



初めに、帯広畜産大学基金にご寄付いただいた皆様、および関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。私は農業経済学コースにて、北海道のめん羊の経営に関する研究をしています。北海道では郷土料理のジンギスカンで羊肉が多く消費されていますが、自給率は1%にも達していません。そんな現状を改善できないか、めん羊の経営体に注目し研究を行っております。大学院に進学してから、研究や授業、自身の勉強などが忙しくアルバイトをする時間があまりなく、生活費や資格取得の資金をためることができませんでした。皆様のご支援により、勉学や研究、資格取得に励むことができました。

今後ともご支援いただいた感謝を忘れず、精進していききたいと思います。

「基金のおかげで研究に費やす時間が確保できています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 江口 夏帆



この度は、基金奨学生に採択いただきありがとうございます。私は、バレイショの早晩性に関わる遺伝子に着目した研究をしています。現在は、極早生品種の後代集団を用いて、形質調査および遺伝解析を行っています。バレイショを栽培し、調査する日々は非常に有意義であり、充実した研究生活を送っています。

修士課程になった当初は、研究に重きを置いた生活ができるか不安でしたが、畜大基金のおかげで研究に費やす時間が確保できています。指導して下さる先生と共に研究に励む仲間感謝しています。残りの修士課程では、知識と経験を積み、バレイショ生産に貢献できる人材を目指していきます。

「立派な社会人として自立し、日本の農業や農家の発展に貢献できるよう、日々努力いたします。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 大崎 歩夢



この度は帯広畜産大学基金の奨学生にご採用いただき、誠にありがとうございます。私は将来、農業関係の仕事に携わるうえで、自身の知識や経験の幅を広げたいと思い、大学院で学んでいます。家畜栄養学ゼミに所属し、未利用資源の飼料化と反芻家畜からのメタン排出の削減に関する研究活動に取り組んでいます。新しい飼料資源の開発・導入によって、飼料自給率の向上と環境負荷の低減が期待でき、持続可能な家畜生産の実現に繋がると考えています。今後は立派な社会人として自立し、日本の農業や農家の発展に貢献できるよう、日々努力いたします。

最後になりましたが、本奨学金にご支援いただいた全ての方々に感謝申し上げます。

「本奨学金を受給させていただいたことで余裕ができ、時間をかけて研究に向き合うことができます。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 大原 瑛姫



この度は、帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。私は昆虫生態学研究室に所属しており、植食性昆虫が集団を形成する際には同種他個体に食害された葉に誘引され、摂食効率の向上という利益を得るのではないかと、という研究を行っています。

今年は授業がある中で昆虫の飼育・実験やフィールドワーク、学会発表の準備などのためにまとまった時間が必要でした。このような忙しい時期にはアルバイトに出られず不安でしたが、本奨学金を受給させていただいたことで余裕ができ、時間をかけて研究に向き合うことができます。

これからもご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

「今回奨学生としてご支援いただいた分、恩返しをしていけるよう努力してまいります。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 佐々木有沙



帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は学部生時代、体調不良でアルバイトができていない時期がありました。社会人になった同期もいる中、大学院進学するにあたってこれ以上親には負担をかけられないという思いもあり精神的、経済的な不安を感じていました。本奨学金の給付によって体調を整える時間的余裕ができ、勉学や研究活動に励むことができています。私は今年度から獣医臨床繁殖学研究室に所属し、飼育下海棲哺乳類の繁殖について研究しています。今回奨学生としてご支援いただいた分、恩返しをしていけるよう努力してまいります。

帯広畜産大学基金に携わるすべての方々に心よりお礼申し上げます。

「基金により入学料および学費を免除いただいたことで、大学院に進学することができました。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 渋谷 隆伸



この度は基金奨学生として採用いただき、誠にありがとうございます。私は弟がおり、家業を継ぐために東京の私立大学に進学したため、両親の学資負担が大きい状況です。そのため、大学院の学費は払えないと言われていたのですが、本基金により入学料および学費を免除いただいたことで、大学院に進学することができました。研究内容としては、十勝地方を中心とする北海道東部のマダニの分布や種類、野生動物との関係などを研究しています。これらの知見は、近年問題となっているマダニ媒介性感染症の対策を行う上で極めて重要です。

今後も研究を進め、公衆衛生の向上に貢献してまいります。奨学生として採用していただいたことに深く感謝申し上げます。

「今回支援してもらえたおかげで別科酪農専修での実習や講義などを通して幅広い知識を得ることができました。」

別科酪農専修1年 三宅 佑樹



この度は私の授業料免除を支援していただき誠にありがとうございます。今回支援してもらえたおかげで、別科酪農専修での実習や講義などを通して幅広い知識を得ることができました。特に印象に残っているのは牛、豚、鶏の解剖実習です。動物の体の中の構造やその機能、皮の厚さなど実際に解剖をしなければわからないことが非常に多くありました。この実習を通して動物に対して心から感謝することができたのと同時に動物の体は私自身が思っている以上に体が弱いと感じました。そのため普段から動物に対して優しくするということが今まで以上に心がけようと思いました。この度は授業料免除を支援していただき誠にありがとうございました。

「多くの方々のご支援のおかげで、充実した大学生活を送れていることへの感謝を忘れず、日々精進してまいります。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 高田 桃花



この度は帯広畜産大学基金を通じて入学料、及び授業料を免除していただき、誠にありがとうございます。私は、微生物生態学研究室に所属しており、寒冷地における針葉樹の初期定着に、病原菌や菌根菌といった菌類が及ぼす影響について研究を行っております。大学院生活という新しい環境に身を置くことに不安もありましたが、皆様のお力添えにより、金銭的にも時間的にも余裕が生まれ、研究活動に進進することができました。また、今後のキャリアのための学習にも取り組むことができております。

今後も、多くの方々のご支援のおかげで、充実した大学生活を送れていることへの感謝を忘れず、日々精進してまいります。この度は、誠にありがとうございました。

「研究者として未熟な身ではありますが、頂いた機会を無駄にせず、学んだことを社会に還元することが出来たらと考えています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 平間誠二郎



帯広畜産大学基金奨学金をご支援くださった方々、またすべての関係者様に心よりお礼申し上げます。私が所属しているのは、家畜の遺伝的な能力を改良することを目的とする、家畜育種学の研究室です。そこで、血縁関係を持つ個体間の交配である、近親交配の影響について研究しています。膨大なフィールドデータを扱うため、分析には非常に時間がかかりますが、皆様のご支援のおかげで経済的な心配をすることなく研究に没頭できております。

研究者として未熟な身ではありますが、頂いた機会を無駄にせず、学んだことを社会に還元することが出来たらと考えています。この度のご支援に、重ねて感謝申し上げます。

「この度の授業料免除のおかげで本来アルバイトに費やしていた時間を研究活動のために使うことができます。」

大学院畜産学研究科獣医学専攻1年 倉本 樹



この度は授業料の免除をしていただきまして誠にありがとうございます。私は原虫病研究センターの研究室にて、蚊のイヌ糸状虫媒介能力に関する研究を行っております。実験室系統や野外採集蚊にもみられる、イヌ糸状虫媒介能力の差を決定する分子生物学的な機構に学部生の頃から興味があり、大学院への進学を決めました。この度の授業料免除のおかげで本来アルバイトに費やしていた時間を研究活動のために使うことができます。

今後も論文執筆、学会発表等に向け、寄生虫学・獣医学分野に貢献できるような研究活動を続けていきたいと考えています。授業料免除による支援のおかげで研究活動に打ちこめることに、大変感謝しております。

「国家試験が控えていることからアルバイトをする余裕がなく、金銭的な支援をいただけることは精神的にも非常に支えになりました。」

畜産学部共同獣医学課程6年 佐藤 麻優



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。卒業研究に向けて研究室活動が本格化していたこと、2月には国家試験が控えていることからアルバイトをする余裕がなく、金銭的な支援をいただけることは精神的にも非常に支えになりました。私は家畜病理学研究室に所属しており、AAアミロイドーシスという難治性疾患の新たな治療法の開発に向け、実験病理学的手法を用いた研究を行っておりました。奨学金のおかげで充実した研究室生活を送ることが出来ました。

この経験を活かし、これからも社会に貢献できるように勉学に励んでいきたいと考えています。ご支援いただいた方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

「これからも皆様からいただいたご支援への感謝を胸に、一層精進してまいります。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 荒井 菜花



この度は、帯広畜産大学基金のご支援により、入学料および授業料の免除を受けられましたこと、心より感謝申し上げます。私は野生動物管理学研究室に所属し、北海道十勝地方におけるタヌキの採食物と栄養状態の関連性について研究を進めています。この研究に取り組む中で、これまで習得したことのない技術や知識が必要となり、多くの時間と努力を要しました。それにもかかわらず、金銭的な負担が軽減されたことで、研究に集中する環境を整えることができました。これもひとえに皆様のご支援のおかげと深く感謝しております。現在、研究で得られた知見を論文として発表することを目指し、さらなる努力を続けております。

これからも皆様からいただいたご支援への感謝を胸に、一層精進してまいります。

「授業料免除の支援をいただいたことに感謝し、今後もさらなる成長を目指して精進していきます。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 佐藤詠史郎



帯広畜産大学基金により、私は学業を続けることができ、心より感謝しております。現在、統計や機械学習を駆使したデータサイエンスの研究に取り組んでおり、特にアルツハイマー病に関連する動物の老人斑検出モデルの構築を目指しています。独学で学んだプログラミングや統計学を研究に活かし、着実に成果をあげつつあります。さらに、資格試験にも挑戦し、「Python3 エンジニア認定データ分析試験」など3つの資格を取得しました。これらの経験は私の学問や研究活動に大きく役立っています。

この度、授業料免除の支援をいただいたことに感謝し、今後もさらなる成長を目指して精進していきます。

「私がウマのことを考えることが出来ているのは皆様方の心がこもった支援のおかげです。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 鈴木 京介



この度は、帯広畜産大学基金に御寄附頂いた皆様、および全ての関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。私は、南保研究室に所属しており、ウマの輸送時に生じるストレスを軽減する研究を行っています。ウマの輸送時の負担は発熱などに繋がるため負担軽減は、競馬やウマ産業にとって重要であると考えられます。しかし、私は研究の他に学業など時間的にアルバイトも難しく兄弟も高校などに就学しているため金銭的余裕がありませんでしたが、本奨学金により研究活動に打ち込めるようになりました。現在、私がウマのことを考えることが出来ているのは皆様方の心がこもった支援のおかげです。

大学院で学んだ成果や知識を活かし、将来は研究員として常にウマのバックアップに努めたいと考えております。

「私がこうして研究に邁進できますのは、支援いただく皆様のおかげです。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 中原 七海



この度、帯広畜産大学基金における大学院給費生として支援を賜り、心より御礼申し上げます。私は畜産を取り巻く生態系について研究を行いたいと思い、帯広畜産大学の大学院に進学いたしました。現在、コウモリ類の吸血性昆虫捕食機能による放牧乳牛の疾病数変化について調査、研究を行っています。コウモリは吸血性昆虫の主な捕食者であり、牛の病気を媒介するブユなどを捕食します。このようなコウモリの行動が吸血性昆虫の媒介する疾病数に影響を与えていたとしたら、生態系と畜産の関係について新たな発見があるかもしれません。

最後になりますが、私がこうして研究に邁進できますのは、支援いただく皆様のおかげです。重ねて御礼申し上げます。

「今後もしも支援いただいた感謝を忘れずに、様々なことに挑戦していきたいと思っています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 橋本 美鈴



この度は、帯広畜産大学基金を通して授業料を免除していただき、感謝申し上げます。私は、現在、ブタの初代培養を用いてブタにおける分岐鎖アミノ酸の代謝機能のメカニズム解明を目的に研究しています。今まで分岐鎖アミノ酸は、筋肉で代謝されることが知られてきましたが、脂肪においても代謝が上がるということが明らかとなれば、栄養のバランスによって、代謝を調整することができるのではないかと考えています。

皆様のご支援のおかげで、今まで以上に研究に割くことのできる時間が増え、楽しく研究をすることができています。今後もしも支援いただいた感謝を忘れずに、様々なことに挑戦していきたいと思っています。

海外留学費用給付事業

「畜大生グローバルチャレンジ」について

海外留学を通じて国際感覚を養い、世界で活躍できるグローバル人材の育成を目的に、短期（15日以上3カ月以内）および長期（3カ月以上1年以内）の留学に取り組む学生を支援するものです。

畜産学部畜産科学課程3年 遠藤 碧子

留学先国：ニュージーランド

留学期間：2024年3月18日～2025年3月5日（長期・11カ月）

農業先進国ニュージーランドでも大手農産物生産会社である、最新設備を持つ農場に勤務し、パプリカとトマトをロックウール栽培するガラスハウスで、収穫・植え替え・手入れ・箱詰め作業を行いました。温度や湿度、pH、ECなどはコンピュータで管理され、環境の把握と判断力の重要性を学びました。この貴重な経験を、今後は自らの研究や畜大をはじめとした留学生との交流などに活かし、北海道内の農業の活性化に貢献できるような職に就きたいと考えています。



モカイ農場でのランチ会

令和6年度ちくだいらんぷ事業について

事業を通じて学生の地域志向を育み、卒業後も十勝の応援団として活躍する人材づくりを目的に、学生が中心となり、帯広・十勝の活性化を図る「ちくだいらんぷ事業」の取組を支援しました。「文化・スポーツコース」「地方創成・地域活性化コース」「おびひろ動物園活性化コース」の3コースに分け、学生から企画を募集しました。今年度は全10件の事業を採択し、活動を行いました。

令和7年1月27日、2月5日に事業報告会を実施し、各団体の学生代表が事業の報告をした後、成果や反省点等について話し合われました。

◇文化・スポーツコース（愛称：「みんなのちくだい。」）

一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団との連携事業で、文化活動やスポーツ活動を通じた畜大生自身による地域貢献活動により、地域の人たちと交流を深められる体験型のコース

団体名	事業名	実施日
陸上競技部	走る！跳ぶ！投げる！はじめての陸上教室2024	令和6年10月19日
カーリング部	Enjoy! 初めてのカーリング	令和6年11月17日
アメリカンフットボール部	アメフトふれあい体験～フラッグフットボールをしよう～	令和6年11月17日
とことこ歩こう	世界料理パーティー（タイのグリーンカレー）	令和6年11月10日
	世界料理パーティー（スリランカナンとスリランカカレー）	令和6年11月23日
体操部	体操部の「やってみよう!パルクール」	令和6年12月15日

（採択事業6件）

走る！跳ぶ！投げる！はじめての陸上教室2024

「走る」「跳ぶ」「投げる」の3つを体験し、陸上競技の魅力を知ってもらうことを目的として、陸上競技部によるハードルやマット運動、シャベリックスローやリレーを実施しました。



Enjoy! 初めてのカーリング

地元の方々にカーリングの体験を通じて、魅力と楽しさを伝え、小学生がカーリングを始めるきっかけ作りとなることを目的として、親子対決のミニゲームを実施しました。



アメフトふれあい体験～フラッグフットボールをしよう～

地域の子供たちにアメリカンフットボールやフラッグフットボールを知ってもらうことを目的として、アメリカンフットボール部によるフラッグフットボールを実施しました。



世界料理パーティー（タイのグリーンカレー、スリランカナンとスリランカカレー）

十勝管内在住の中高生と畜大の留学生をつなぎ、地域の国際交流を促進すること、畜大をより身近に感じてもらうこと、海外へ興味を抱くきっかけ作りとして、ボランティア団体とことこあるこうによる、タイのグリーンカレー、スリランカのナン作り体験を実施しました。



体操部の「やってみよう!パルクール」

地域の方々のこれまでやったことのない運動をするきっかけ作りや、新しいことに挑戦してもらうことを目的として、体操部によるパルクールを実施しました。



◇おびひろ動物園活性化コース（愛称：「ずーぷろ」）

おびひろ動物園との連携事業で、おびひろ動物園を今よりもさらに魅力的にするために、畜大生が自主的に企画するコース

団体名	事業名	実施日
OZUFUL	なきごえコレクター	令和6年10月26日・27日
うしぶ。	おびひろ動物園・哺乳とミルクのふしぎ	令和6年10月26日・27日

（採択事業2件）

なきごえコレクター

学生団体OZUFULは、「鳴き声を想像する」という、新しい動物園の楽しみ方を提案し、動物に対する新たな視点や興味を持ってもらうきっかけを作り、おびひろ動物園の来園者増加を目指しました。



哺乳とミルクのふしぎ

うしぶ。は、おびひろ動物園の哺乳類に焦点を当て、哺乳とミルクの違いを多くの人に楽しく学んでもらうことを目的として、クイズのスタンプラリーを実施しました。



◇地方創成・地域活性化コース（愛称：「とかチャレ」）

帯広・十勝の地域課題の解決等、地域の活性化につながる企画として、畜大生が自主的に実施する企画コース

団体名	事業名	実施日
とことこあるこう	十勝アライグマバスターズ！！	令和6年10月12日～10月31日
ゼニガタアザラシ研究グループ	ゼニガタアザラシセンサス50周年イベント	令和6年12月7日・8日

（採択事業2件）

十勝アライグマバスターズ！！

ボランティア団体とことこあるこうは、アライグマを捕獲し、駆除することで、被害を抑えることができること、地域の方々への啓発活動を目的として、アライグマ捕獲の活動をSNSで報告しました。



ゼニガタアザラシセンサス50周年イベント

ゼニガタアザラシ研究グループは、これまでの研究成果をもとに、ゼニガタアザラシの生態や保護の現状を地域の方々に共有し、ゼニガタアザラシの保護、管理及び活用検討と機運醸成を目的として、ゼニガタアザラシセンサス50周年イベントを実施しました。



ちくだいホームカミングデー2024を開催

令和6年10月12日（土）に「ちくだいホームカミングデー2024」を開催しました。「ちくだいホームカミングデー」は、本学の卒業生、修了生及び元教職員の皆様に、再び本学に足をお運びいただき、同窓生や在学生、教職員との交流を深めていただくために開催しているイベントで、帯広畜産大学同窓会・畜大祭実行委員会との共催で開催しました。当日は全国各地から、170名を超える参加者にお集まりいただきました。



記念写真



開会式での学長挨拶



学生団体によるフード提供



懇親会の様子



逍遙歌の合唱

寄 附 者 ご 芳 名

[企業・団体等] (58団体)

(五十音順・敬称略)

【100万円】

敷島製パン(株)

【50万円】

日本甜菜製糖(株)

社会医療法人北斗

【30万円】

十勝農業協同組合連合会

宮坂建設工業(株)

【25万円】

帯広信用金庫

【20万円】

(株)十勝毎日新聞社
よつ葉乳業(株)

(株)ホクチク

宮本機械(株)

【10万円】

(株)ズコーシャ
(株)北海道フーズ

(株)土谷特殊農機具製作所

内外施設工業(株)

【5万円】

大高酵素(株)
十勝農協連畜大同窓会

合同会社エイル
ハラデンキ(株)

十勝信用組合
(株)平田建設

【3万円】

税理士法人 竹川会計事務所

北成建材工業(株)

【2万円】

出雲ペットクリニック

【1万円】

(株)小澤建設

(株)北口電器商会

大昭電気工業(株)

【7千円】

酪農畜産乳業関連 帯広畜産大学有志同窓会

【企業名・団体名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

(有)青田企画巧芸	(株)アクト	(株)伊豆倉組
大槻理化学(株)	帯広市川西農業協同組合	帯広商工会議所
帯広地方卸売市場(株)	(株)笹原商産	全国酪農業協同組合連合会
(株)曽我	(株)ダイイチ	大樹町農業協同組合
東洋農機(株)	十勝清水町農業協同組合	十勝地区農業協同組合長会
(株)日専連ジェミス	バイオマスリサーチ(株)	美瑛町農業協同組合
富士金網製造(株)	北王コンサルタント(株)	北慎建設工業(株)
(株)北海道新聞社帯広支社	北海道電力ネットワーク(株)	北海道農業協同組合中央会帯広支所
北海道富士平工業(株)	三菱商事(株)北海道支社	宮本商産(株)
やまびこ動物病院(株)	(株)山本忠信商店	(株)柳月
Y S ヤマショウ(株)		

不掲載希望等 10団体

【個人・学外】 (185名)

(五十音順・敬称略)

【20万円】

齊藤 篤 吉田 武徳

【18万400円】

鴨志田光栄

【10万円】

新木 貢 今田 忠夫 佐渡谷裕朗 高木 恵子 飛松 一樹
林 克昌 村上 豊 諸角 元二

【6万円】

横尾 博

【5万円】

熱田 幸江 加藤 道博 出口 宣夫 三浦 輝雄 山中 健司
山本 哲也

【3万円～3万9千円】

安田 昌英 池田 奉昭 長谷川 光

【2万円】

伊織 嬌子 市村 豊 伊藤 隆範 太田 修一 大山 和喜
印牧 馨 河口 和吉 菅野 典雄 澤田 拓士 高木 俊雄
高橋 秀清 細川 誠 松橋 亘 八重樫伸男

【1万円】

荒木 貞一	乾 英二	岩崎 繁基	内山 和夫	海村 正義
大杉 雄毅	太田 道典	大宮 良文	勝俣 和悦	亀尾 勇
久住 正博	佐藤 基佳	柴田 雄二	下道 宏作	末広 彰
砂川 敏文	関水 朋大	高橋 英三	高橋 康一	高橋 次夫
長南 隆夫	辻 修	中村 武史	中村 隆宏	名和 靖史
早坂貴代史	林 俊克	深沢 晃	益田 邦郎	松田 尚文
宮本 道男	矢木沢徳弘	山岡 秀俊	和田 明	渡邊 睦実

【～5千円】

岩田 剛史	大西 博	折橋 秀夫	田和 恵	早坂 純一
原田 弘智	増本多喜子	矢島 大彰		

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

相場 武	浅倉 幾美	有沢 道朗	有田 大作	池永 雅一
石川 智之	石田 正人	伊藤 謙二	依藤 充明	稲垣 和雄
井上 美紀	猪子 敏夫	岩波 道生	宇井三喜子	植田 健仁
上田 広之	内海真奈美	大出 真弓	大内 聖和	大澤 教男
大芝 英明	大竹 敏恵	大谷 亨	大槻 啓二	大槻 重夫
大友 秀文	奥村 隆雄	小田 昌秀	鬼窪 峻大	小原 裕光
影山 晴久	風間 幹生	柏村 文郎	門屋 充郎	川崎 寧
川田 泰正	川村 雅貴	神林 昌也	久保 長旦	小西 正人
小林 幹子	小山 洋	斉藤 正明	斎藤 政克	佐村 久夫
塩崎 弘	島 哲哉	島貫 正道	白澤 昌彦	白戸 綾子
新酒 英暁	住友 寛	相馬 要	園田 眞	高橋 直記
高橋 亮也	高畠 孝一	高松 彰義	竹内 優貴	竹迫 紘
竹迫 真樹	田中 静幸	田中 秀明	丹野 久夫	辻本 宗裕
東條 雅彦	中川 欣三	長澤 次郎	長澤とも子	南部 実
西田 譲	西村 達弥	似鳥 英司	野川 浩道	野本 優二
羽柴 清志	蜂谷 進	羽田 昭夫	久野 紀子	広瀬 清
広瀬とも子	広瀬 春行	福本 幸久	藤井 啓	藤村 裕一
朴 柱亨	星野 敏伸	丸山 純孝	三浦 晃一	密本 眞弓
三原 正士	宮崎 達也	宮原 達史	三好 雅史	百田 周平
森田 芳治	森本 英敬	矢部 智幸	山口 佳男	山崎 孝雄
山下 博司	山保 浩之	勇川 順子	横山 誠人	吉田 定弘
米山 修	和田 芳昭			

不掲載希望等 83名

【個人・学内】（78名）

（五十音順・敬称略）

【12万円】

井上 昇

【10万円】

長澤 秀行

【6万円～7万円】

大坪 秀典 舛川 正晃

【3万円～5万円】

佐藤 健一 手塚 雅文 福島 道広

【2万円】

小川 晴子 口田 圭吾 南保 泰雄 宗岡 寿美 村西 由紀

【1万円～1万9千円】

岡田 繁 小田 賢一 笠原 誠人 嘉屋 元博 川村 正洋
草場 信之 国友 千帆 西田 慎吾 大林 姿子 福田 健二
三宅 俊輔 窪田さと子 村上 徹 森 正彦 柳川 久
和田 大輔

【～9千円】

生田 和哉 石割 厚希 海田 芳隆 加藤 豊 玄 学南
坂本さや香 杉田帆奈美 千葉三都希 中島 司典 花田 正明
堀田 努 矢吹衣理奈 山口 将 若木 海理 押田 龍夫
野並 雅章

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

（五十音順・敬称略）

相内 大吾	麻田 正仁	穴澤 清幸	有安 友美	石井 利明
大川晶由里	大西 一光	岡村 雅史	春日 純	茅野 光範
木村 賢人	後藤 達彦	小松 勇介	齋藤 謙一	斉藤 準
佐々木基樹	佐野 忠士	田上 正明	武田 洋平	武山 暁子
田中 秀樺	谷 昌幸	塚本 孝志	得字 圭彦	西田 武弘
高橋 良江	早坂 美穂	東 陽介	松井 基純	松本高太郎
松元 志帆	村田浩一郎	吉野 綾華	渡辺 純	

不掲載希望等 43名

感謝状の贈呈

このたび、大学基金に対して多大なご支援をいただいた松橋 亘氏、藤代 寛氏、鬼窪 峻大氏に対し、長澤秀行学長より感謝状を贈呈しました。

この感謝状は、大学基金で定める「謝意表明の基本方針」に基づき、大学基金が創設された平成22年4月以降、企業・団体等にあっては累計100万円以上、個人にあっては累計50万円以上のご寄附をいただいた方に対して贈呈するものです。



長澤学長と鬼窪 峻大氏（左から）

帯広畜産大学基金運営委員会委員名簿

構成員 13名 (任期2年：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

令和7年4月1日現在

	職 名	氏 名
委員長	帯広畜産大学 学長	長澤 秀行
委 員	宮坂建設工業(株) 代表取締役社長	宮坂 寿文
	日本甜菜製糖(株) 常務執行役員	田村 雅彦
	よつ葉乳業(株) 常務取締役十勝主管工場長	井出 元郎
	帯広商工会議所 会頭	川田 章博
	帯広信用金庫 理事長	高橋 常夫
	(株)十勝毎日新聞社 代表取締役社長	林 浩史
	(株)ズコーシャ 相談役	関本 裕至
	特定非営利活動法人十勝障がい者支援センター 理事長	門屋 充郎
	帯広畜産大学同窓会 会長	三津原 勝
	帯広畜産大学 副学長	古林与志安
	帯広畜産大学 副学長	仙北谷 康
	帯広畜産大学 副学長	中野 昌明

帯広畜産大学基金規程

平成22年 1月21日規程第1号

制 定

改正 平成28年 7月29日規程第30号 平成29年 3月28日規程第15号

令和4年 4月1日畜大規程第1号 令和7年 6月18日畜大規程第2号

(設 置)

第1条 帯広畜産大学（以下「本学」という。）に、経済的理由により修学に困難がある学生等を対象とした修学環境を支援するための基金として学生修学支援事業基金を、また大学運営及び社会貢献に関する活動を支援するための基金として大学運営支援事業基金を置く。

(学生修学支援事業基金)

第2条 学生修学支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。

- (1) 授業料、入学料又は寄宿料の免除等の経済的負担の軽減を図る事業
- (2) 学費を給付する事業
- (3) 海外留学費用を給付する事業
- (4) 教育研究業務に従事させるための雇用経費を支給する事業

2 学生修学支援事業基金は、前項に定める事業を寄附目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(大学運営支援事業基金)

第3条 大学運営支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。ただし、前条第1項に掲げる事業を除く。

- (1) 教育研究環境の整備に関する事業
- (2) 社会貢献活動の支援に関する事業
- (3) 産業界又は同窓生との連携に関する事業
- (4) その他本学運営のために必要な事業

2 大学運営支援事業基金は、前項に定める事業を目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(基金の管理)

第4条 学生修学支援事業基金及び大学運営支援事業基金（以下「各基金」という。）は、この規程及びこの規程に基づく定めによるほか、国立大学法人北海道国立大学機構寄附金取扱規程（令和4年度機構規程第88号）により寄附の管理を行うものとする。

(基金の使途)

第5条 学長は、各基金の寄附の受入の決定にあたり、寄附者があらかじめ使途を特定しない場合においては、これを特定しなければならない。

2 各基金に対して納付された寄附金の使途は、変更してはならない。

(基金の運営)

第6条 各基金はそれぞれ区分して経理することとし、その運営は、各基金毎に受け入れる寄附及びその果実をもって充てる。

2 各基金の運営に関する重要事項の審議は、帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）が行う。

3 委員会の組織運営等については、別に定める。

(賛助会員)

第7条 各基金の目的に賛同する者は、賛助会員となることができる。

2 賛助会員及び賛助会費に関し必要な事項は、別に定める。

(事業年度)

第8条 各基金の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(庶務)

第9条 各基金の庶務は、関係課等の協力を得て、企画総務課において処理する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、各基金の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則（平成28年7月29日規程第30号）

この規程は、平成28年7月29日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月28日規程第15号）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（令和4年4月1日畜大規程第1号）

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和7年6月18日畜大規程第2号）

この規程は、令和7年6月18日から施行し、令和7年4月1日から適用する。

帯広畜産大学基金賛助会員規程

平成22年1月21日規程第2号

制 定

改正 平成28年7月29日規程第31号 令和4年4月1日畜大規程第1号

(趣 旨)

第1条 帯広畜産大学基金規程（平成22年規程第1号）第7条第2項の規定に基づき、帯広畜産大学基金（以下「基金」という。）の事業活動をより充実したものとするため、この規程を定める。

(賛助会員)

第2条 賛助会員は、基金の目的に賛同し、継続的に事業に協力するものであって、この規程に定める賛助会費を納付した者とする。

(賛助会費)

第3条 賛助会費の額は、次のとおりとし、1口以上を申し込むことができる。

- (1) 個人会員の場合は、1口年額5千円とする。ただし、教職員については、1口月額500円として申し込むことができる。
- (2) 法人・団体会員の場合は、1口年額1万円とする。

(賛助会員の脱会等)

第4条 賛助会員が賛助会費を納付しない時は、脱会したものとみなす。

(賛助会費納付金の運用)

第5条 賛助会員から納付された賛助会費は、基金の運用財産収入又は基本財産収入として経理し、運用する。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則（平成28年7月29日規程第31号）

この規程は、平成28年7月29日から施行する。

附 則（令和4年4月1日畜大規程第1号）

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

帯広畜産大学基金運営委員会細則

平成22年1月21日細則第1号
制 定

改正 平成24年2月16日細則第12号 平成27年6月2日細則第7号
平成28年5月24日細則第4号 令和4年4月1日畜大細則第1号
令和7年6月18日畜大細則第2号

(趣 旨)

第1条 この細則は、帯広畜産大学基金規程（平成22年規程第1号）第6条第3項の規定に基づき、帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(任務)

第2条 委員会は、帯広畜産大学基金（以下「基金」という。）の管理及び運営に関する次に掲げる事項について審議を行う。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 基金の予算及び決算に関する事項
- (3) 寄附の受け入れ及びその運用に関する事項
- (4) 寄附者への謝意表明の基本方針に関する事項
- (5) その他基金の管理及び運営に関する重要事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長のうち、学長が指名する者
- (3) 帯広畜産大学の職員以外で大学に関し広くかつ高い識見を有するもののうちから、学長が指名する者 若干人
- (4) 帯広畜産大学同窓会役員の中から学長が指名する者 若干人
- (5) その他学長が必要と認めた者 若干人

2 委員は、やむを得ない理由により出席できない場合は、委員長に委任状を提出し、議事を委員長へ一任することができる。

(任期)

第4条 前条第1項第3号から第5号までの委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠又は増員による委員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長が指名した委員が、その職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は、委員の過半数（第3条第2項の委任状を提出した委員の数を含む。次項において同じ。）が出席し、かつ、第3条第1項第3号の委員のうち少なくとも1名が出席しなければ、会議を開くことができない。

2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員の代理出席)

第7条 第3条第2項の規定により委員会を欠席する委員は、委員長承認を得て代理人を出席させることができる。ただし、代理人は、議事に加わることはできない。

(委員以外の者の出席)

第8条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、関係課等の協力を得て、企画総務課において処理する。

(雑則)

第10条 この細則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この細則は、平成22年1月21日から施行する。

2 この細則施行後、最初に任命される第3条第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則（平成24年2月16日細則第12号）

この細則は、平成24年2月16日から施行する。

附 則（平成27年6月2日細則第7号）

この細則は、平成27年6月2日から施行する。

附 則（平成28年5月24日細則第4号）

この細則は、平成28年5月24日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（令和4年4月1日畜大細則第1号）

この細則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和7年6月18日畜大細則第2号）

この細則は、令和7年6月18日から施行する。

別紙様式（第3条関係）

委任状

年 月 日

帯広畜産大学基金運営委員会委員長 殿

委員氏名

私は、帯広畜産大学基金運営委員会細則第3条第2項の規定に基づき、 年 月 日開催の帯広畜産大学基金運営委員会に関する議事について、委員長へ委任します。

代理人 所属

職名

氏名

※ 同細則第7条の規定に基づき、代理人を指名する場合は代理人についてご記入ください。

発 行 令和7年8月

編集発行 国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学
企画総務課 基金・広報係

所 在 地 〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地

電話番号 (0155) 49-5219

<https://www.obihiro.ac.jp/fund>
